



砥粒加工学会 学会活性化フォーラム  
in ABTEC2022



「研削熱の影響とその抑制」

企画:砥粒加工学会 若手の会「次世代ものづくり技術研究会(通称:山椒魚)」

砥粒加工学会 ABTEC2022 実行委員会

＜開催趣旨＞ 砥粒加工学会では、若手研究者・技術者と学生が参加しやすい活発な学会にすること、また学会を将来にわたって継続的に発展させることを目的として、学会活性化フォーラムを開催してきました。ABTEC2022では若手の会(山椒魚)とABTEC実行委員会の共同企画として、防衛大学校名誉教授 奥山繁樹先生の講演会を開催します。奥山先生は、研削加工における材料除去のメカニズムや温度分布などの解明、砥石自動接近システムの開発など著名な研究成果をあげられる傍ら、近年では学会の連載記事として研削の基礎講座をご執筆されるなど、研削加工の専門家として若手研究者・技術者の育成活動にも精力的に取り組まれています。これらのご経験に基づき、とくに研削熱の影響とその抑制方法を中心に研削加工の奥深さなどについてご講演頂きます。新型コロナウイルス感染症の状況が不透明なため、参加者全員が一堂に会する交流会は実施しませんが、近隣の飲食店で使用可能な「みなとみらい21共通飲食券」を配布しますので、ぜひ参加者同士の交流にご活用ください。

日 時：2022年8月29日(月) 16:20～17:30 (砥粒加工学会 ABTEC2022 第1日目)

会 場：神奈川大学みなとみらいキャンパス 4階 米田吉盛記念講堂

〒220-8739 神奈川県横浜市西区みなとみらい4-5-3

<https://www.mmc.kanagawa-u.ac.jp/about/access.html>

内 容：「研削熱の影響とその抑制」

防衛大学校 名誉教授

奥山 繁樹 先生

＜講演内容＞ 研削加工は万能的な加工法として重用されておりますが、切れ刃は大きな負のすくい角を有し、上滑りを伴うことも多い加工法です。その上、砥石周速度は2000 m/minにも達するため、大きな加工熱が発生します。しかも、発生した熱の多くは工作物に流入し、研削焼けや割れなどの熱損傷を発生させやすく、さらに仕上面の形状精度や寸法精度にも影響を与えます。本講演では ①研削熱発生メカニズム、②研削熱の伝導と拡散、③仕上面品質に及ぼす研削熱の影響、④研削液の冷却効果、についてご解説いただきます。



17:30 閉会 (※近隣の飲食店で使用可能な「みなとみらい21共通飲食券」を配布しますので、参加者各自で交流を深めていただくことを期待します。)

○活性化フォーラムの参加費：1,000円(学生の方、非会員の方も含め、一律の価格です。「みなとみらい21共通飲食券」購入の一部に充てさせていただきます。)

○活性化フォーラムの参加資格：実年齢が40歳以下、ならびに気持ち年齢が40歳以下(自称)の若手研究者・技術者は大歓迎です。ただし、実年齢が40歳以上の参加希望者は、40歳以下の若手を積極的に引率してご参加願います。学生の参加も大歓迎です。

○参加申込方法：準備の都合がありますので、学会活性化フォーラムにご参加希望の方は、学会ホームページ(<http://www.scoop-japan.com/kaigi/abtec/>)から事前登録して下さい。